

資金調達・運用・財政分析の集中講座 ＜地方公共団体金融機構と共催＞

金融市場の仕組み、金利、債券、経済と銀行の枠組み、リスクマネジメント、財政分析等に関する講義、グループ討議等により、資金調達に係る多様な選択肢の中から、自らの団体にとって最適なものを選び出す手法を探るとともに、資金運用についての基礎から専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

日程 令和6年9月18日(水)～9月20日(金) (3日間)

場所 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
千葉県美浜区浜田1丁目1番地

対象 市区町村の資金調達又は資金運用に携わる職員
※市区町村において、特に希望する場合には、該当しない職員についても申込みの上、受講することができます。

定員 40名

経費 6,200円(食費を除きます。また、教材用図書費が別に必要となる場合があります。)

申込期限 令和6年7月2日(火)

申込方法 ※当研修所ホームページの **募集中の研修** より申込みを希望する科目を選択し、**申込み** をクリックして、電子申込みサイトで手続きを行ってください。
※FAXによる申込みは、令和6年度から廃止しました。

研修内容について 地方公共団体金融機構地方支援部ファイナンス支援課

TEL 03-3539-2677 URL <https://www.jfm.go.jp>

参加申込先・会場について 市町村職員中央研修所研修部

TEL 043-276-3126 URL <https://www.jamp.gr.jp>

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、あらかじめ御了承ください。

11:00 - 12:20

入所

12:30 -

開講式・オリエンテーション、
研修のねらい

13:00 - 14:15

講義・演習

借入金利の見方

地方公共団体金融機構
自治体ファイナンス・アドバイザー

金利の見方やものさしとなる様々な金利、経済と金利の関係について学びます。

14:30 - 17:15

講義・演習

銀行等引受債の借入交渉

地方公共団体金融機構
自治体ファイナンス・アドバイザー

地方公共団体が銀行等引受債を借り入れる際の条件交渉に必要な、借入期間・金利等の考え方について学びます。

9月18日/水

9:00 - 12:00

講義・演習

資金運用のリスクと管理①・②

地方公共団体金融機構
自治体ファイナンス・アドバイザー

歳計現金・基金等の運用対象となる預金や債券について金融商品としての基礎知識、リスクと管理手法等について学びます。

13:00 - 15:00

講義・演習

地方債管理と財政分析

地方公共団体金融機構
自治体ファイナンス・アドバイザー

地方公共団体の地方債管理のポイントについて学ぶとともに、地方公共団体金融機構が提供している財政分析チャート「New Octagon」による財政分析の手法について紹介します。

15:15 - 17:45

演習

グループ別討議

地方公共団体金融機構
自治体ファイナンス・アドバイザー

資金調達や資金運用に関するテーマに基づき、グループごとに意見交換・討議を行います。

M E M O

9:00 - 12:00

事例紹介

資金調達・運用に関する取り組み

調達：青森県八戸市財政部財政課主幹

松田 陽子 氏

運用：大分県国東市財務管理専門委員

益戸 健吉 氏

地方公共団体金融機構

自治体ファイナンス・アドバイザー

地方公共団体の資金調達・運用について、先進的な取り組みを行っている事例をご紹介します。

13:00 - 13:40

演習解説・研修振り返り

地方公共団体金融機構

自治体ファイナンス・アドバイザー

青森県八戸市財政部財政課主幹

松田 陽子 氏

大分県国東市財務管理専門委員

益戸 健吉 氏

3日間の研修内容を振り返りながら、演習問題の解説等を行います。

14:10 -

修了式

M E M O
